

# ジョン・健・ヌッツォ テノールリサイタル

ピアノ：村松亜紀

## 1部

アヴェ・マリア ..... マスカーニ  
歌劇「セルセ」より オンブラ・マイ・フ ..... ヘンデル  
歌劇「アルルの女」より フェデリコの嘆き ..... チレア  
陽はすでにガンジス川から ..... スカルラッティ  
たとえ、つれなくても ..... カルダーラ  
喜ばせてください ..... ベッリーニ  
「スリー・チャイニーズ・リリックス」より ..... デューク  
正午に 君の窓辺に 岸なき海  
歌劇「第一回十字軍のロンバルディア人」より  
私の喜びを呼び覚ます ..... ヴェルディ

## 2部

ちんちん千鳥 ..... 近衛秀麿  
鳩笛の歌 ..... 中田喜直  
赤とんぼ ..... 山田耕筈  
朝の歌 ..... レオンカヴァッロ  
忘れな草 ..... クルティス  
カタリ、カタリ ..... カルディッロ  
歌劇「リゴレット」より 女心の歌 ..... ヴェルディ

春

# 2014 四季コンサート

2014年4月5日(土)18:15開場 18:45開演

会場：浜松市教育文化会館

主催：浜松音楽友の会

## プロフィール

### ジョン・健・ヌッツォ(リリック・テノール)

南カリフォルニア・チャップマン大学音楽部声楽科在学中に数々の賞を受賞。その歌声はロサンゼルス・タイムズでも、数回に渡り賞賛される。2000年に世界三大歌劇場の一つであるウィーン国立歌劇場でデビューし、2000/2001年度のオーストリア芸術新人大賞「エバーハルト・ヴェヒター・メダル」を受賞する。ザルツブルグ音楽祭に3度出演、ミュンヘン・フィルハーモニーと共演。その活動がTBS系TV番組「情熱大陸」にて放映され、一躍脚光を浴びる。第13回出光音楽賞受賞。その後、巨匠ジェームズ・レヴァインの招待により世界最高峰のメトロポリタン歌劇場にデビュー。「愛の妙薬」のネモリーノ、「ラ・ボエーム」のロドルフォ等、甘い歌声に定評がある。ブラジルドミンゴ、エティータ・ガルベローヴァ、アンジェラ・ゲオルギュー、レオ・ヌッチ、レナート・ブルゾンヤリチャード・ボーニング等、世界の名だたるアーティストと共演するなど、日本国内では類い稀な経歴を持つ。NHK大河ドラマ「新選組!」のテーマ曲を歌い、NHK「紅白歌合戦」に2度出場。また、天皇皇后両陛下とローマ教皇に歌声を披露した経験をもつほか、MLBやサッカー、アイスホッケーの国際試合での国歌斉唱も務めた。2013年はオペラ「KAMIKAZE〜神風」の初演で主役を務め絶賛される。音楽を通じた東日本大震災への復興支援も精力的に行っている。オフィシャルサイト：<http://www.jkn-tenorissimo.com/>

### 村松 亜紀(ピアノ)

4歳からピアノを始め、これまでにマイヤー兼松るり子、田辺緑、奈良場恒美、練本繁男の各氏に師事。桐朋学園音楽学部、同大楽研究科修了。第71回日本音楽コンクール第3位。2005年松方ホール音楽賞大賞受賞。2007年より「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」のアカンパニストとして参加、活動するなど多くのアーティストと年間100本近いコンサートを行っている。ソリストとしては、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演した。現在も室内楽コンサート、リサイタル、またテレビ、ラジオ、CDでアンサンブルピアニストとして国内外のアーティストと多数共演している。



ジョン・健・ヌッツォ  
テノールリサイタル

JOHN KEN NUZZO  
TENOR RECITAL

写真：©Katia Kolekoltseva

●マスカーニ／アヴェ・マリア

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」は、イタリアの作曲家マスカーニの代表作。その「間奏曲」は際立って美しく、後に「ダニーボーイ」の作詞者ウェザリーが詩を付けた。

また本日は、「ジョン＝アメリカ」、「健＝日本」、「スツツォ＝イタリア」というイメージというテーマも掲げられている。

●ヘンデル／歌劇「セルセ」より オンブラ・マイ・フ

「ラルゴ」の愛称で広く知られているこの曲は、オペラ「クセルクセス（セルセ）」第1幕の冒頭で歌われるクセルクセス王の美しいアリア。「これほど緑が豊かで美しい木陰はこれまでになかった」と歌われる「なつかしい木陰（オンブラ・マイ・フ）」は、しみじみとした深い味わいに溢れている。

●チレア／歌劇「アルルの女」より フェデリコの嘆き

「アルルの女」は、イタリア・オペラの旗手チレアによる全3幕のオペラ。〈フェデリコの嘆き〉は第2幕、農園の女主人ローザの息子フェデリコが、アルルから来た女に一時心を奪われるが、幼馴染のヴィヴィエッタの真摯な気持ちに触れ、心を開いて歌う。原作はドードの「風車小屋便り」。

●スカララッティ／陽はすでにガンジス川から

アレッサンドロ・スカララッティは、ナポリ楽派を代表するオペラ作曲家。イタリア古典歌曲のひとつに数えられるこの作品は、オペラ「愛のまこと」か、同「ボンベオ」のいずれかの中のアリアだと言われている。ガンジス川に上る太陽の光が、生命の輝きをもたらす情景を歌う。

●カルダーラ／たとえ、つれなくとも

カルダーラは、ヴェネツィアに生まれたバロック時代の作曲家である。マントヴァ公の招聘をうけて宮廷楽長となり、主にオペラと宗教曲を創作した。この作品は、1710年に作曲した牧歌劇「愛の誠は偽りに打ち勝つ」で、テノールによって歌われるカンツォネッタである。

●ベッリーニ／喜ばせてください

ベッリーニはシチリア島に生まれたオペラ作曲家で、34歳という短い生涯に、「ノルマ」、「清教徒」、「夢遊病の娘」など11のオペラを遺した。また宗教曲や30曲ほどの歌曲、わずかの器楽曲を書いており、〈喜ばせてください〉は歌曲集「6つのアリエッタ」の6曲目、ベッリーニ独特の美しい旋律に溢れている。

●デューク／「スリー・チャイニーズ・リックス」より 正午に 君の窓辺に 岸なき海

デュークは、アメリカの作曲家である。ピーボディ音楽院等で学び、ピアニストや指導者としても活躍、250曲を超える作品を残した。特に歌曲は数多く、「3つの中国の愛詩」による3つの作品は、清王朝の詩人ファン・ツェン・シアンによる詩で、ひとりの男の届かぬ愛を描いている。

●ヴェルディ／歌劇「第一回十字軍のロンバルディア人」より 私の喜びを呼び覚ます

19世紀を代表するイタリアのオペラ作曲家ヴェルディは、「アイダ」、「椿姫」、「イル・トロヴァトーレ」などの名作で知られるが、このオペラはメレリの委嘱によって1847年、オペラ座で初演された。「私の喜びを呼び覚ます」は、第2幕で歌われるカヴァティーナ。

●近衛秀磨／ちんちん千鳥

近衛秀磨は、日本が西欧音楽を採り入れた黎明期に活躍した指揮者、作曲家である。異母兄は元首相近衛文磨であり、後にNHK交響楽団となる新交響楽団を組織して活動を展開した。作曲家としては寡作であったが、童謡「ちんちん千鳥」は代表曲である。

●中田喜直／鳩笛の歌

「雪の降るまちを」、「ちいさい秋見つけた」、「夏の思い出」などで知られる中田喜直は、20世紀の日本を代表する作曲家である。清水みのるの作詞によるこの「鳩笛の歌」は、亡くなった親友を想って、切々と歌われる。

●山田耕筰／赤とんぼ

日本を代表する歌曲のひとつ。詩人・三木露風は1921年に童謡集「真珠島」を出版、その中に収録された「赤とんぼ」に耕筰が曲を付けた。幼少時に両親が離婚し、姉やに負われて見上げた空、去っていった母への恋しさなど故郷の情景を歌っている。2007年、日本の歌百選に選ばれた。

●レオンカヴァッロ／朝の歌

レオンカヴァッロの作品中、よく歌われる独唱曲。名歌手カルーソーのために作曲され、1904年には作曲者のピアノで録音もされた。夕べに歌われる恋の歌がセレナードだが、朝歌歌われるのは「マッティナータ」。「白い衣装に包まれた夜明けが、太陽に向かって扉を開けた」と歌われる。

●クルティス／忘れな草

ナポリに生まれたクルティスはイタリアの作曲家である。「帰れ、ソレントへ」などの名曲を残したことで知られるが、本作は、「忘れな草で、私のことを。私の命はあなたあってこそ、私は前にもましてあなたを愛している」と切ない気持ちを歌う。

●カルディロ／カタリ、カタリ

カルディロが1908年、コルティフェッロの詩に作曲し、カルーソーに奉げた。「なぜ、そんなひどいことを言うのだ。僕のすべてを君に奉げたのは知っているだろう。僕を苦しめないでくれ」と歌う。

●ヴェルディ／歌劇「リゴレット」より 女心の歌

ユーゴーの戯曲「逸楽の王」を原作にピアヴェが台本を書き、1851年に初演された「リゴレット」で、ヴェルディは世界的名声を不動にした。オペラ・アリアの中でも広く知られる「女心の歌」は第3幕で歌われる。